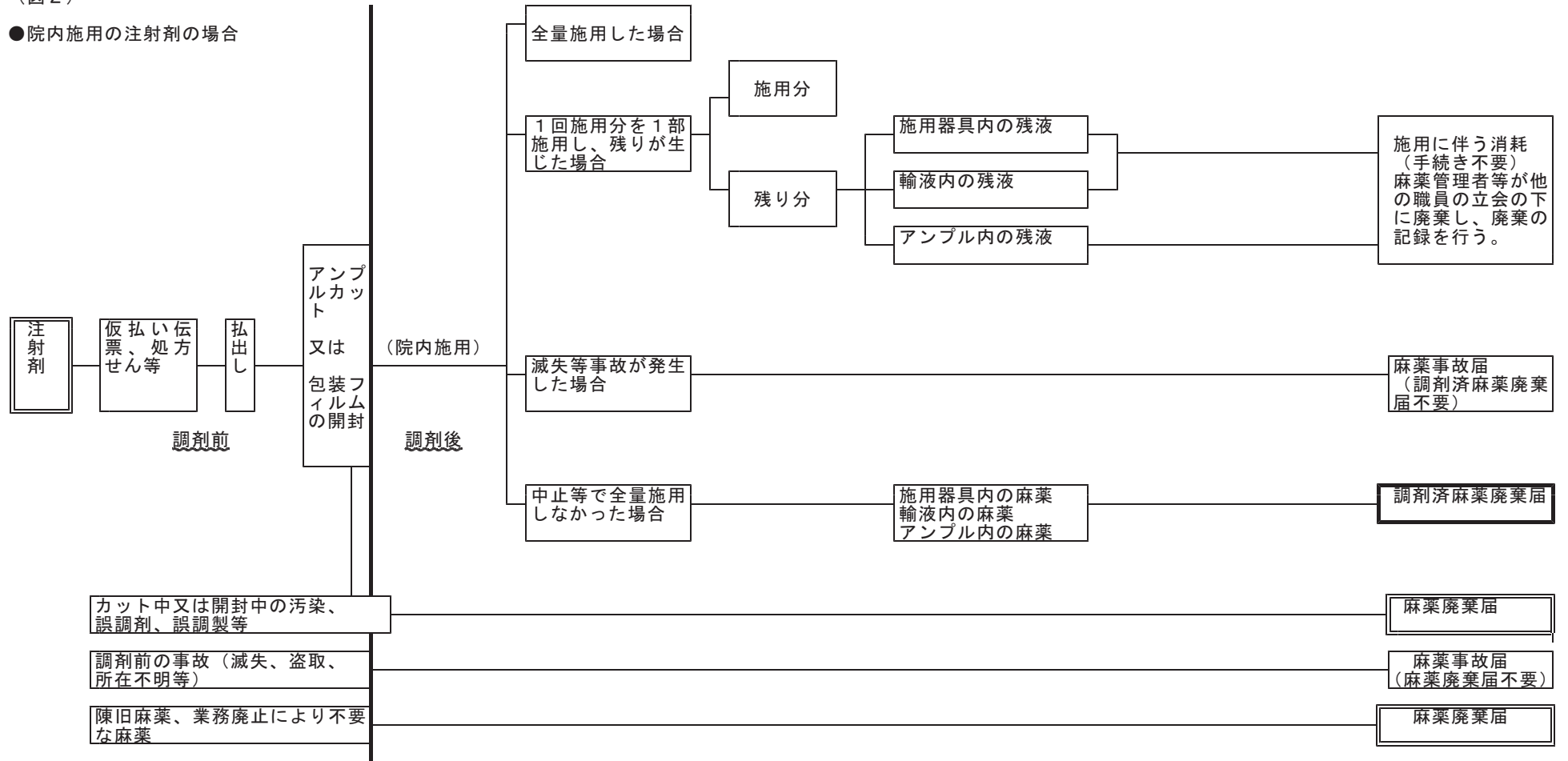


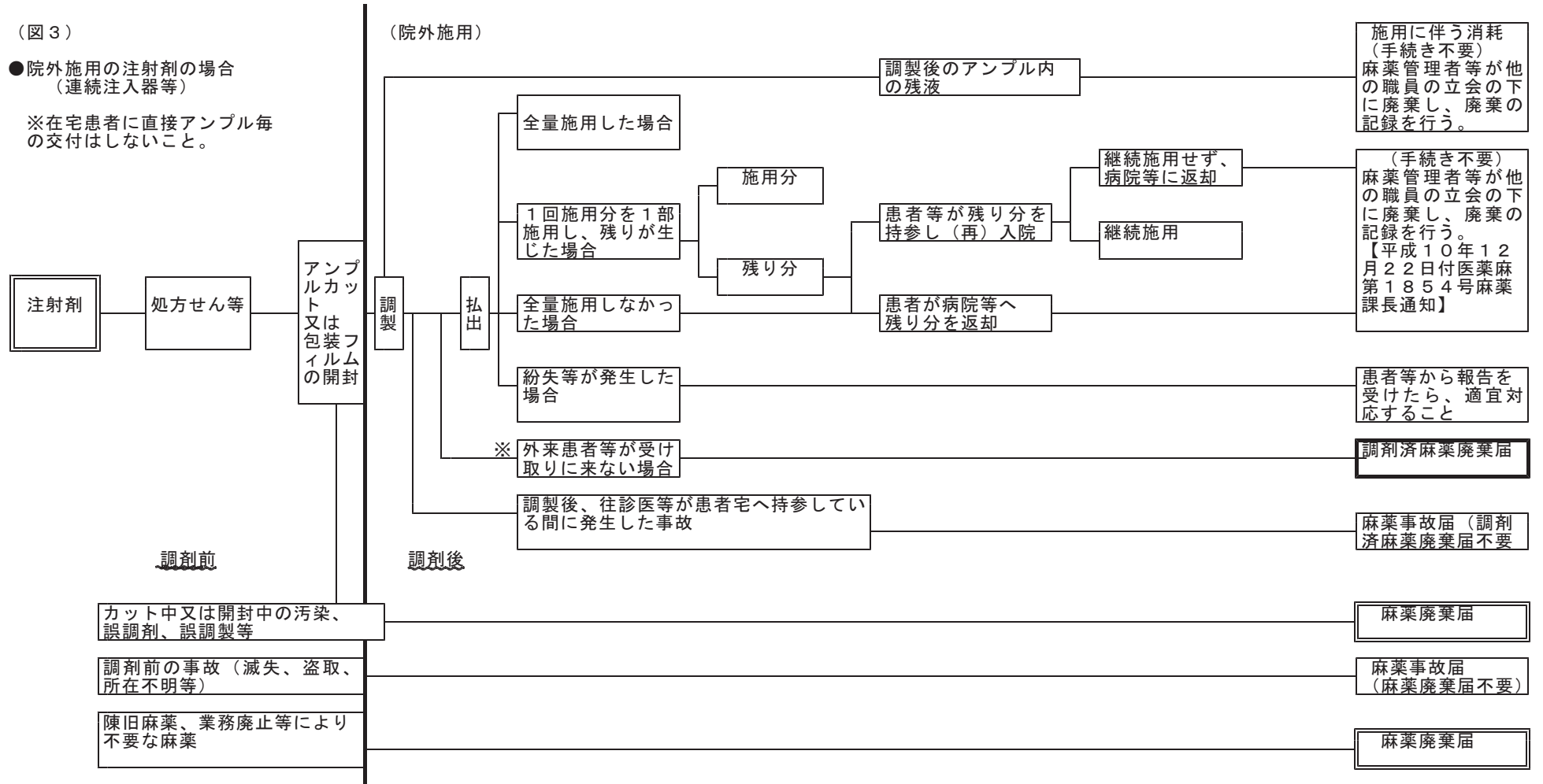
(図2)

●院内施用の注射剤の場合



(図3)

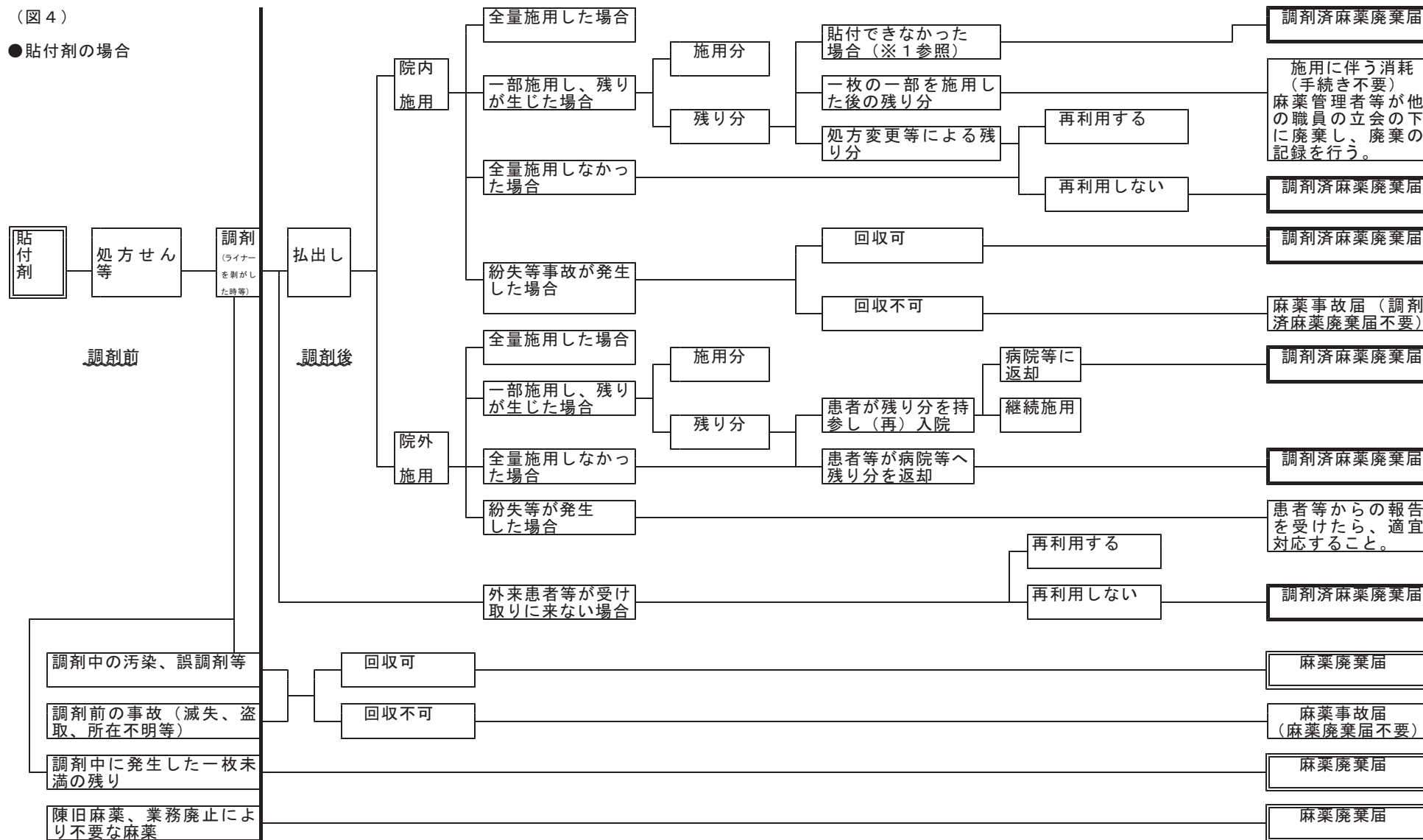
●院外施用の注射剤の場合
(連続注入器等)
※在宅患者に直接アンプル毎
の交付はしないこと。



(注意) ※ 患者等が一旦処方せんを持参し、再度来訪する旨告げ退出した場合等が該当する。

(図4)

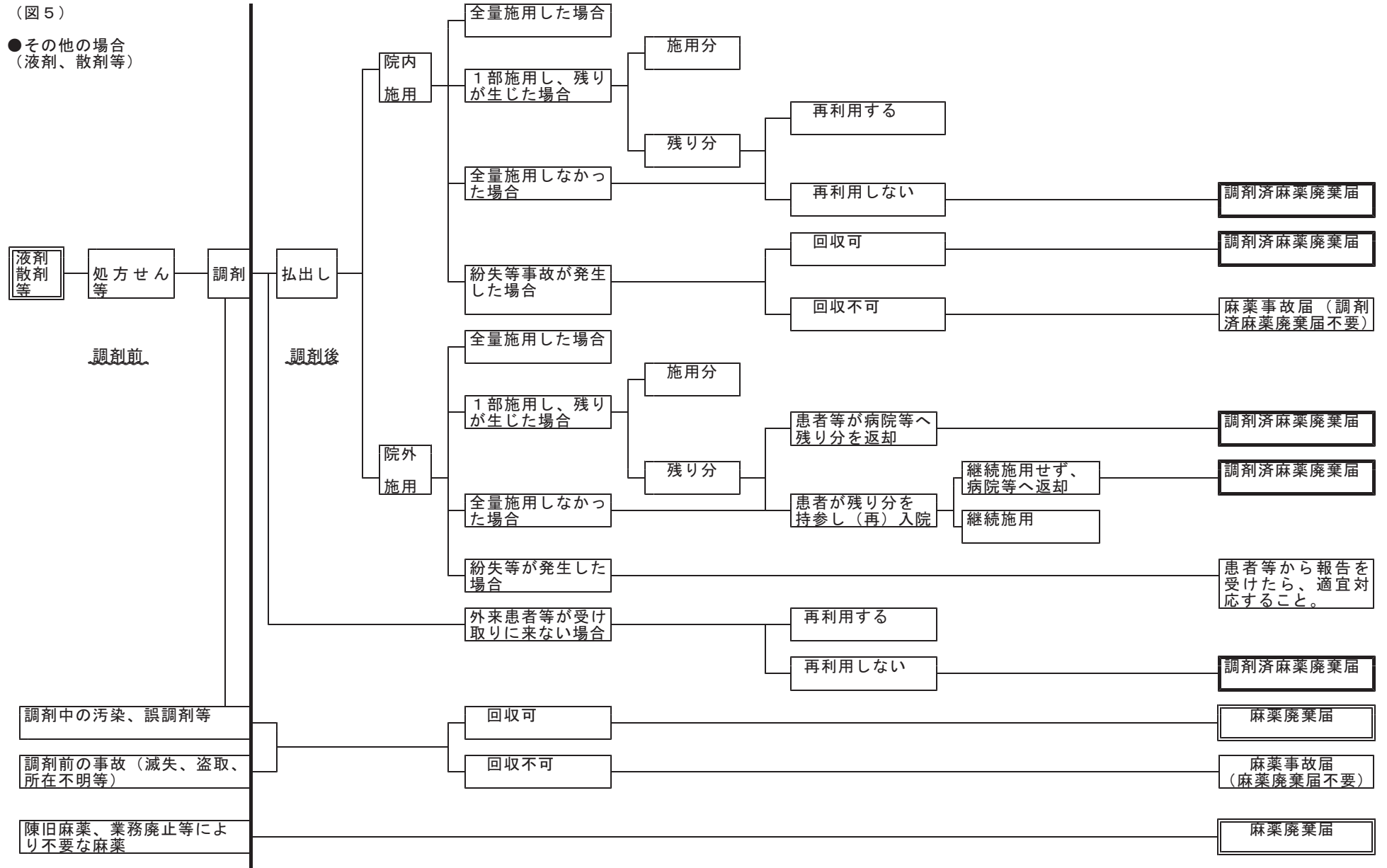
●貼付剤の場合



(注意) ※1 ライナーから剥がすのに失敗した場合等が該当する。
 ※2 施用途中で剥離した場合や途中で施用を中止した場合は、施用済みとして処理すること。
 ※3 院内で施用済みの貼付剤 (上記※2の場合も含む。)については、麻薬管理者が全て回収し適切に廃棄すること。

(図5)

●その他の場合
(液剤、散剤等)



(図6)

● バイアル製剤の場合

